



令和7年度 舟石川小学校グランドデザイン

【本県の教育目標】

ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちか
う
じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
郷土を愛し協力しあう心を育てる

【いばらき教育プラン】

「活力があり、県民が日本一幸せな県」
茨城県の未来をつくる「人材」を育て、日本一子
どもを産みやすい県を目指します。

【学校教育目標】

心豊かでたくましく
自ら学ぶ子の育成

【東海村学校教育指導方針】

子どもたちに夢を 幼稚園・学校に活力を
一子どもたち一人ひとりがキラリと輝く学校
○児童生徒一人ひとりの可能性を引き出し、自己肯
定感を高める学校
○地域・保護者と共に子どもたちを育てる学校
○教職員がやりがいを感じながら、元気に明るく楽
しく働く学校。

目指す学校の姿

- ・児童も教員も明日が待たれる学校
- ・安全で美しく、潤いや活気のある学校
- ・保護者、地域に信頼され愛される学校

目指す児童像

《かしこい子》

- ・自ら課題を見いだす子
- ・課題を深く追究する子
- ・学んだことを活用できる子
- ・本が好きな子

《やさしい子》

- ・明るく元気で思いやりのある子
- ・自己肯定感のある子
- ・あいさつをする子
- ・ありがとうが言える子

《たくましい子》

- ・心身を鍛える子
- ・目標に向かってあきらめずがんばる子
- ・好き嫌いをなく食べる子
- ・危険を自ら回避できる子

目指す教師の姿

- ・教育的愛情にあふれ、児童一人一人の夢を育む教師
- ・児童の自ら学ぶ力を引き出す指導力のある教師

学校組織目標

誰もが「元気」に、そして「笑顔」になれる学校をみんなでつくる

重点

確かな学力	豊かな心	健やかな体
<p>【日々の授業を大切にする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎「主体的、対話的で深い学び」の視点での授業づくり ・自ら課題を見だし、根拠をもとに伝え合う学習の工夫 ・アウトプット場面の充実 ・振り返りの充実 ◎読書活動の充実 ・学校図書館指導員との連携による読書活動の支援、学校図書館の整備 ◎専科指導、教科担任制、スタディ・サポーターとの連携によるTT、少人数指導の導入、活用 ◎1人1台端末の効果的な活用 ・教科特別指導員との連携によるICT活用に向けた授業支援、及び環境整備 	<p>【道徳教育、特別活動、特別支援教育の充実を図る】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎よさを認め合う学年・学級づくり ・いじめ・不登校の未然防止 ・給食時の会食を通したよりよい人間関係の構築 ◎「考え、議論する」道徳科授業展開の充実 ◎自治的・自発的な特別活動の充実 ・縦割り班活動の工夫と充実 ・豊かな体験活動の充実 ◎特別支援教育の充実 ・基本的な考え方：「特別支援教育＝個に応じた指導・支援」の共有 ・生活指導員との連携等による個に応じた指導・支援の充実 	<p>【たくましい身体をつくる場を工夫する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎体力・運動能力向上の取組 ・運動量を確保した体育授業の積み上げ ・体育的行事の計画的な実施（運動会、校外水泳授業、村陸上記録会、持久走記録会等） ◎元気っ子タイム等を活用した体力向上の推進 ◎健康教育、防災教育、食育等の充実 ・熱中症対策、交通安全等、「自分の命は自分で守る」安全教育の徹底 ・学校事故の未然防止と早期対応 ・健康増進に向けた生活習慣の形成（早寝・早起き・朝ごはん） ・食物アレルギー等に配慮した給食時のグループ会食の実施



日々の教育活動をしっかりと支えていくために

安全・安心な学校づくり	コミュニティ・スクール	信頼される教職員
<ul style="list-style-type: none"> ○危機管理意識の徹底による学校事故、いじめ等の未然防止と早期対応に係る取組 ○施設面における安全管理の徹底 ・毎月の全職員での安全点検 ○安全・防災教育等の充実 ・交通安全指導を兼ねた一斉下校（学期始・末）等 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域とともにある学校づくり ・定期的な学校運営協議会の実施による育てたい児童像の地域との共有 ・地域人材の積極的な活用による授業を中心とした教育活動への支援、登下校の見守り等、児童の安全確保に係る取組 	<ul style="list-style-type: none"> ○コンプライアンス意識の徹底 ○様々な課題に対する誠実かつ丁寧な対応 ・児童・保護者・地域、同僚等の「思い」をしっかりと受け止め、ともに考え、ともに取り組む体制の確立 ○ボトムアップ型研修による資質の向上
<p>教職員の意欲の向上と教育活動の成果につながる働き方改革の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎児童の幸せと成長を願い、協働しながら組織目標を達成する教職員集団づくり ○児童と教職員のウェルビーイングの両立 ○授業準備や研修、事務処理時間の確保 ○モジュール等、時間割の工夫 ○行事实施方法等の検討 		